

第2回佐賀市社会教育委員の会議 議事録

■議題

(1) 佐賀市社会教育助成事業補助金について

○社会教育法に基づき、社会教育関係団体へ補助金を交付するにあたり社会教育委員の意見を伺った。

(○…委員からの質疑、◎…委員からの意見、●…事務局回答)

○団体ごとに活動内容が違うのになぜ基本の金額が一律5万5,000円なのか。

●昨年の社会教育委員の会議で議論し決定した補助金の交付基準に基づき、予算の範囲内で決めさせてもらった。

○今後、新規で社会教育と認められる活動を行う場合は、補助金交付団体に加わる事ができるのか。

●新規の交付団体である子育てサークル連絡会は今年で25年という、長年の活動の歴史があり、昨今の社会のニーズといった複数の要件が合致したタイミングだったということがある。予算の厳しい現状では、素晴らしい活動をしている団体ということで、即補助ということにはならないと考えている。

○交付された後の活動状況、補助金の使途は把握しているか。

●補助金の交付決定等の過程で、予算書、決算書、事業計画、総会資料、聞き取り等により把握している。

◎補助金交付団体がこんなに活躍していて、お金はこういうふうに使われているといった情報を一元的に集約、発信して、補助金の財源として企業の協力を得るなどして、もっと盛り上げていかないといけない補助金ではないかと感じている。

○委託事業に切替えられた団体について従前の補助金額と同額で移行されたのか。

●同額で移行している。

○佐野常民記念館以外にも、社会教育にちなんだ拠点施設を持っているところも存在していると思うが、ほかのそういう社会教育に根差した拠点がここに入っていないのはなぜか。

●団体の基準を考える中で、子どもに関する事業をしているということと、団体構成員だけでなく、広く市民への活動を行い、市全域に構成団体があるというようなところを基準にしており、それを満たす必要がある。佐野常民顕彰会については、合併前から交付されてきた経緯もある。

(2) 教育長及び教育委員との意見交換会について

○意見交換会の目的、実施方法等を説明し、議題を選定いただいた。

【議題】

- ・家庭・学校以外での青少年の居場所づくり
- ・家庭教育の支援について
- ・公民館に期待する役割について

○議題の中で発言したい内容の意見を提出していただくよう依頼した。

(3) 佐賀市二十歳のつどいの実施について

○令和7年度二十歳のつどい対象者によるアンケート結果を説明し、二十歳の集いの実施方法について意見を伺った。

(○…委員からの質疑、◎…委員からの意見、●…事務局回答)

◎中高一貫校とか、校区外を今選択できるようになっているので、校区と別の会場に行くなどを考えると統一開催のほうが、明らかにいいと思う。

◎統一開催での混雑の中で、知り合い同士が集えないというのは、校区で場所を分けるなど工夫次第でいかようにもなると思う。

◎今後、校区で5人とか3人とかになって、寂しい感じになってしまうよりは、統一開催で、それぞれ高校過ごした仲間とまた再会できるほうが、現実的と感じる。

◎シャトルバスを出す等の配慮が必要と思う。

◎統一開催でよいと思うが、振り袖を着せた子どもを送迎する際に渋滞が起こることが親としては気になる。

◎SAGAアリーナでの開催だと2,000人ぐらいで、逆に寂しい感じにならないか。保護者も参加できるようにするとよい。

◎全体でやる方向がいいと思う。座る席に、地区別などの提示があれば、私立や附属、中高一貫校に行った子どもでも安心して座れる。自分で選べるというような形をとると問題が減るのではないか。

○学生時代にどこかでつらい経験をしたような人たちの中には、二十歳のつどいに参加しようと思ったときに、この人に会いたくない、地元の人には会いたくないというような人も多いと思うが、そういった人たちへの配慮が、今まで議論されたことがあるのか。

●今回のアンケートでも、記述式で答えてくれた当事者の声の中に、そういう意見が少なからずあった。エリア別で分けたほうが入りやすい、行きやすいという意見もあるが、逆にエリア分けしないほうが行きやすいという意見もあり、一長一短である。エリア分けをするかどうかについては、検討をさせていただきたい。

■報告事項

(1) 佐賀市教育振興基本計画について

○策定中の第5次佐賀市教育振興基本計画について、進捗状況等の報告を行った。